

Cure and Care communication

第118号

# C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1  
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>

**ナカムラ病院**  
 介護医療院 **ひる**  
 介護老人保健施設 **まいえ**  
 グループホーム **つばい**

医療法人ピーアイエー

**陽光の家**  
 特別養護老人ホーム  
 通所介護事業所  
 居宅介護支援事業所

社会福祉法人 双樹会

## 介護医療院ひる5周年

……  
2P

- ……  
• 作品展「今を生きる作品たち」… 4P  
……
- PIAギャラリー …………… 7P  
「一写実を紡ぐ」花野均展  
……

## ひいろ開設5周年を迎えて

平成三十年九月一日、介護療養病棟百五十床を介護医療院に転換し、「介護医療院ひいろ」を開設いたしました。今年で開設五年を迎えました。介護医療院は長期的な医療と介護を必要とする人が対象です。吸引、経管栄養、点滴、酸素、ターミナルケアや日常生活能力の維持改善のためのリハビリ等の医療機能と、穏やかに療養できるよつ適切な介護とプライバシーが保たれ、地域と家族の結びつきを重視した生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。個々の療養生活の充実と地域交流を推し進めよつとしていた矢先、新型コロナウイルスのパンデミックが起きました。この三年間は新型コロナウイルス対応が最優先となりました。今まで行っていた五日市高校の吹奏楽や書道展示、地域の大正琴愛好家の演奏、観音神社の獅子舞など病院行事は中止を余儀なくされました。今まで二十四時間いつでも面会ができ、家族と一緒にホールでお弁当を食べたりして貴

重な時間を過ごしていただいていたのですが、厳しい面会制限を行わなくてはいただけませんでした。また職員がマスク、フェイスシールドをするため利用者さんに笑顔で介護することができませんでした。リモートやガラス越しの面会を行うなどしてきましたが、大変苦しい状況が続きました。

今年六月に新型コロナウイルスが五類に変更になり、感染予防をしながら病院行事を再開いたしました。また面会制限も緩和してきています。長期療養生活において、地域や家族との交流は最も重要なことだと考えています。安心して穏やかな療養生活が送れるような介護医療院となるよつ、職員一同努めて参りますので、よろしくお願いたします。

ナカムラ病院

介護医療院ひいろ

院長 塚野 健

ひいろの病棟責任者に聞いてみました。私にとってひいろはどんな場所？開設から5年を経て思うことなど…。

●「緋色」(ひいろ) 茜染の最も鮮やかな黄みの赤)は平安時代には「思いの色」と呼ばれ、当時は「思ひ」と書いたので、思ひの「ひ」から火が連想され、熱き思いを緋色で表すよつになったそうです。私たちも熱き思いで頑張つていきますよ！

看護部長 撰 敬子

●コロナ禍が大きく影響した三年間でした。面会制限の中、入所者さまとご家族さまを繋ぐこと、または寄り添つことを目標に取り組んできました。現在進行形で共に笑顔で歩みたいと思います。

B1療養棟科長 田中 清美

●医療を提供できる施設ではありませんが、「生活の場」であることを忘れず、入所者の皆さま、ご家族さまの思いに寄り添い、穏やかに苦痛なく療養できる環境づくりに努めます。

B3療養棟科長 石川 涼子

●入所者さまそれぞれの希望を実現していく場です。医療・介護・リハビリなど連携をとり、ひいろの名のよつに彩りある生活を支援します。

B4療養棟科長 山根 孝之

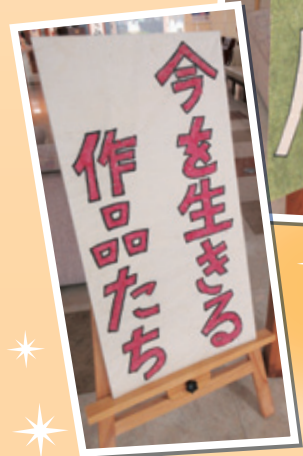




今年で十九回目となる作品展「今を生きる作品たち」を開催いたしました。ナカムラ病院の患者さま、介護医療院ひろのの入所者さま、デイケアにぎや家の利用者さまから約三百点におよぶ個性豊かな作品が勢ぞろいしました。

みなさまと一緒に作品作りをしていると、毎回色々な発見をします。「なんでもやるよ」と持ち前の器用さを発揮される方や完成した作品を照れくさそうに見せてくれる方、「あんた上手にやっとなるね」とほめ上手な方など…。

私たち作業療法士は、何か作業をすることで、その人らしい生活が出来るように援助しており、こうした作品を作ることもその一環として



で行っています。

これからも、さまざまな活動を通してみなさまの「今を生きる」を援助していきたいと思えます。

リハビリテーション科

作業療法士 有馬 芽久美  
関 真弥



折り紙手芸

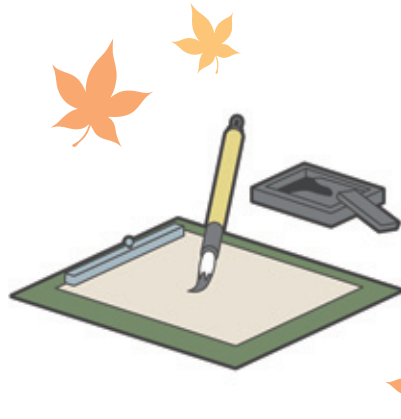


共同作品



ちぎり絵





# 陽光 ふぁみりー

## 待ちに待った 書道教室の再開

コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になっていた書道教室が8月から再開されました。実に3年ぶりです。書道教室の先生もお変わりなく、職員、利用者さまと一緒に再開を喜びました。利用者のみなさまは久しぶりの書道教室とあって、「もう字を忘れたよ。」「筆で書けるかしら。」と不安な様子でしたが、いざ筆を持つと一生懸命にお手本の字を見て書かれていました。お一人では筆を持ち書くことが難しい利用者さまには、書道の先生の手を利用者さまの手に添えて一緒に書いていただきました。利用者さまの作品をお一人お一人拝見していると、「おめ」「はね」「はらい」にしっかり個性が表れています。とても素敵な作品がたくさん完成しました。

陽光の家 通所介護事業所  
相談員兼介護職 網本 忠文



# 栄 養 の お 話

## 間食について

「間食」と聞くとどのような物が思い浮かびますか？ 仕事の合間に食べるちょっとしたお菓子、家事や育児の休息時に口にするスイーツと言ったところでしょうか。本来間食とは、朝食、昼食、夕食以外で摂取する、エネルギー源になる食べ物や飲み物を指します。そして、3食の食事では不足する栄養素を補うことや、好物を食べて心身に潤いを与える役割もあります。日頃食べているお菓子を、フルーツや野菜を使用した食品に置き換えることで、私達日本人に不足しがちなビタミンやミネラル、食物繊維を間食から補い、健康のための間食選びをしてみてください。



ナカムラ病院 栄養科  
管理栄養士 出崎 美波

# つばい こぼれ話

【絵手紙】



つばいで生活されている入居者さまは、季節に添った絵を描いたり、ちぎり絵製作をして、ご家族に手紙を送られています。どれも個性があり「お元気ですか?」「いつもありがとうございます。」などの言葉も添えられています。ご家族からお返事が届くこともあり、面会やお電話

とはまた違った暖かい交流が生まれています。家族を思いながら言葉を考え文字や絵にして送るこの絆を大切にしていこうと思っております。

グループホーム つばい  
介護福祉士 福山 智恵

九月十五日、認知症カフェ「サロンドファミーユ」。観音台公民館で四度目の開催となりました。

まず、当院の言語聴覚士による嚙下機能についての講話がありました。それから休憩を挟み、次にお客様が楽しみにしていたであろう、生演奏の時間です。

広島楽友協会より指揮者の林直之先生、チェロ奏者の阿曾沼裕司先生にお越しいただき、ピアノとチェロの二重奏で会場内は魅了されました。何と言ってもこちらのお二人、イケメンなのです！そんなお二人が揃って優雅な音色で楽しませてくれるのは、ここ観音台公民館での開催時だけなのです。

## 認知症カフェだより



素晴らしい演奏が終わり、暗転したかと思うと、何やらお揃いの衣装を着た五人組が現れ「オーラ！」の掛け声と共にギター演奏&ダンスが始まりました。この五人組こそがピアノ奏者なのです。メキシカンハットを被り、マラカスを持って行うのは、橋幸夫の「恋のメキシカンロック」です。ノリノリで会場を沸かせた後は、お約束のミニコンサートが始まります。その中でボーイズの小競り合いの場面があったのですが、会場内が若干引き気味だったのはご愛敬。

その後嚙下訓練企画として早口言葉が始まりました。お馴染み(?)のドリフの曲に合わせてまずはボーイズがお手本を見せてます。ちゃんと言えても盛り上がり、噛み噛みでも盛り上がり、次はお客様を巻き込んでいきます。

恥ずかしくて嫌がっておられた方も、ステージに出るとともノリノリでされており、ボーイズとお客様が一体となった瞬間でもありました。

程よく会場内の空気が和んだ後で、「恋のメキシカンロック」に合わせた体操を皆様と踊る為、振り付け指導を行いました。実はこの



認知症カフェメンバー Hぼう

曲、前回の観音台公民館での認知症カフェのアンケートで、どなたかがリクエストしてくれていたのです！

振り付けを考え、とても厳し…楽しい練習を経たからこそ皆様の前で披露することができました。曲が始まると、林先生・阿曾沼先生もピアノとチェロで参加してください、大盛り上がりな時間となりました。

今回も大成功となった認知症カフェ「サロンドファミーユ」。これからもワクワク・ドキドキ・トキメキをモットーに頑張っていきますので、よろしくお願ひします!!



# 長寿の秘訣

今回の長寿の秘訣は、ナカムラ病院にぎや家を利用されている、秋田信子さまにお話をうかがいました。



▲秋田信子さま(95歳)

Q 長寿の秘訣は？

A よく寝て、よく食べるよ。何でもよく働いたしね。家が百姓で、みかんや芋を作ってた。朝から晩まで働いた。朝起きたら掃除から。働くしかないよね。だから背中が曲がってしまつて(笑)

Q 小さい時はどんな子どもでした？

A 意地が悪かつたよ(笑) 六人兄弟の下から一番目。カルタとかした。家が音戸の方で海が近かつたから、泳ぐのは得意よ。簡単なワンピースみたいな服で泳いでた。

Q にぎや家ではどのようなことを過ごされていますか？

A 何でもするよ。いろいろさせてくれる。(隣にいたスタッフ)「ベッドで休まれていても、体操やゲームが始まると起き上がって参加されてしまわ。」  
寝とちやつたらんからね(笑)  
おしゃべりが大好き(笑)



▲活動中の様子

終始笑顔でお話してくださいました。笑顔も長寿の秘訣なのかもしれないですね。これからもお体にお気をつけてお元気で過ごしてください。ありがとうございました。

## 綿井先生にインタビュー!!

Q やりがいはどんなことがありますか？

教室に参加されている90代の参加者さんは長年外反母趾に悩まされていました。指が重なり合い、痛みもおありでした。足裏マッサージを紹介したところ、頑張り屋の参加者さんは毎日取り組んでくださいました。その努力のおかげで指同士が離れ、履くのに苦労した鼻緒つきの履物が履けるようになりました。この方のように、「こんなに良くなったよ」と言って下さるのを聞いた時にやりがいを感じます。



地域で体操教室をされている綿井英恵子(わたいえりこ)先生にお話をうかがいました。

Q 地域でどんな活動をされていますか？

観音台と千同の集会所で体操教室をしています。「お気楽運動教室」という教室名で、体操・脳トレ・有酸素運動をしています。他にも地域包括センターからの依頼で公民館でも体操をしています。

Q どういうことに気を付けて体操されていますか？

私は算数が苦手なのですが、そういった脳トレは間違えると「間違えたー」と落ち込んでしまいます。そうではなく、楽しみながら体も頭も動かし、間違えても笑えるような脳トレをメインに行っています。事業名のCOMFYは「居心地がよい」という意味があります。参加された方が「楽しかった〜!」と言って帰ってもらえるよう意識しています。

Q ストレス発散法は？

人とおしゃべりすることと運動です！おしゃべりが大好きなので(笑)

Q いつも元気で明るい綿井先生ですが、元気の秘訣はなんですか？

自分が楽しんで笑っていないと相手にも楽しさが伝わらないと思うので、笑って過ごすようにしています。プライベートで大変なこともあります。現場に行くとみなさんの笑顔もあって、自然と気持ちも切り替わります。



▲体操の様子  
みなさん笑顔で楽しそうです



PIAギャラリーでは、九月十八日から十二月二十三日まで「花野均展」を開催中です。写真以上に写實的に描かれた対象と、抽象的に描かれた背景とを融合させた作品など十九点を展示しています。作品を見れば見るほど新しい発見があり、引き込まれてしまいます。

花野先生より以下のコメントをいただいております。



「この度はナカムラ病院さんのご厚意で展示させていただくことになりました。いつも展示会は美術館や一般ギャラリーで行うので、私の作品を目当てに来られる方ばかりです。ですが、今回はナカムラ病院さんにご用事があつて来られた方々が偶然、私の作品に触れていただける。このような新しい出会いにとても心が躍っております。」

この偶然の出会いが、皆様の日常に彩りを添えますように。

事務部 六田 雄大

## いきいき行事ダイジェスト

### 7月

- 七夕会 (B4)
- 七夕会を楽しもう (つばい)
- 音楽鑑賞 (B6)
- 七夕会 (まいえ1)
- 七夕会 (B3)
- 夏祭り (B5)
- 七夕会 (A3)
- 七夕の日!! 年に1度の出会いの日 (にぎや家)
- 七夕飾り (まいえ2)
- おやつレク (陽光の家)
- 売店 (陽光の家)
- 郷土料理「石川県」 (陽光の家)
- 夏祭り (陽光の家)



### 8月

- 夏祭りと夏バテ防止の北国の春体操 (まいえ1)
- 夏祭り (つばい)
- 夏祭り (B5)
- 納涼お楽しみ会 (全体行事)
- お金つり&魚つり、フルーツバイキング (まいえ2)
- 夏を満喫しよう!! 皆で虫取り大合戦 (にぎや家)
- 納涼会 (B7)
- おやつレク (陽光の家)
- 売店 (陽光の家)
- 郷土料理「鳥取県」 (陽光の家)



### 9月

- 重陽の節句 (まいえ1)
- 敬老の日 お祝い膳 (つばい)
- 敬老会 (B1)
- 敬老会 (全体行事)
- 十五夜 (B7)
- 秋のピンゴ大会 (まいえ2)
- 秋を楽しもう (にぎや家)
- 敬老会 (つばい)
- フルーツバイキング (まいえ1)
- お月見会 (B5)
- 売店 (陽光の家)
- おやつレク (陽光の家)
- 敬老会 (陽光の家)
- 郷土料理「神奈川県」 (陽光の家)



# ナカムラ病院 インスタグラム開設



令和五年七月五日より、ナカムラ病院インスタグラムを立ち上げました。ナカムラ病院を中心とした医療法人ピーアイエーグループのことを気軽に知っていただき、多くの方に親しみを持っていただけることを目的としています。

現在は、法人内の様々な出来事を紹介しておりますが、今後は、「様々な部署の紹介」・「とある職員の一日」や「病院付近のお店紹介」など、もっと見て

為になる、楽しいアカウントにしていききたいと夢を膨らませております。

PIAギャラリーのアカウントとともに、ゆつくりですが力強く更新し続けていきますので、応援よろしく願います。

Instagram委員会



ナカムラ病院



PIAギャラリー

## 佐伯区認知症初期集中支援事業

# オレンジ支援チーム

医師、看護師など  
医療・介護の専門  
家チームがご自宅  
訪問いたします



ご相談はお近くの **地域包括支援センター**へ

## 今月号の 表紙のご紹介



陽光の家の裏庭から見上げる観音山、極楽寺山を背にしたナカムラ病院の外観は四季折々の自然豊かな表情を見ることが出来ます。瀬戸内を臨む町並みも眺めが綺麗ですが、山側の景色も絶景で、これからの時期は紅葉が鮮やかです。ピーアイエーグループは一年を通じて四季を存分に感じられる素敵な場所に立地しています。

陽光の家 施設長 松井 誠

## 編集後記



皆さまにとって、日々の生活の癒しは何でしょうか？ 私は大事にしているぬいぐるみを愛でることです。ぬいぐるみが私の家になつてきたのは四年前の秋。ころころふわふわのフォルムと愛らしい顔立ちに心惹かれて購入したものです。「大人なのにぬいぐるみ…」と思ったこともありました。コロナ禍で外出がままならなかった時期も彼らの愛らしさに癒されて乗り切ることができたと思います。

これからもほっと息つく時間を持ちながら、肩の力を抜いて日々ゆるりと頑張ります。(H)